

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369

あッ！釣れたあ～！



社会を明るくする運動「親子ふれあいマス釣り大会」(7月4日さかな園)

平成21年第2回定例会

日の出町老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	2P
平成21年度一般会計補正予算(第2号)	2P

一般質問

「健康サポート日本一の町を！」など 9人の議員が問う	4P
----------------------------	----

第2回定例会が6月3日から15日までの13日間の会期で開催されました。

定例会初日は専決処分・条例改正・補正予算・道路線の認定など11議案が審議されました。

2～3日目には9人の議員による行政全般に関する23項目の一般質問が行なわれ、さらに最終日には条例改正・指定管理者の指定など3議案及び議員提出議案1件及び陳情1件が審議されました。

決議

北朝鮮の核実験に抗議する決議

北朝鮮は、これまでも拉致をはじめ、核実験やミサイル発射などを繰り返し、国際社会のルールや秩序を無視してきた。

重ねて、北朝鮮は5月25日、国連決議や6カ国協議共同声明、さらには日朝平壌宣言に反して、2回目の核実験を強行した。しかも、北朝鮮は核実験後の25日午後、日本海へ向け短距離地对空ミサイル3発も発射した。さらにこの後に及んで現在も、中距離弾道ミサイルの発射準備をしている。

このような北朝鮮の行動は、我が国を含む地域の平和と安全を脅かすものであり、極めて憂慮すべき事態である。

度重なる核実験は、国際的な核不拡散体制に対する重大な挑戦であり、唯一の被爆国である我が国としては、決して容認できるものではない。

よって、平和都市宣言を掲げている日の出町では（日の出町議会として）、北朝鮮の暴挙に対し特に強く抗議するとともに、我が国が国際社会と連携し、北朝鮮に対して核兵器開発の中止と、核の放棄を求めため断固たる行動を取るよう強く求める。

以上、決議する

平成21年6月15日

東京都西多摩郡日の出町議会

定例会初日では専決処分のほか、日の出町平井老人福祉センターの名称及び位置を新しく日の出町平井4118番地に建設された「日の出町平井・生涯青春ふれあいセンター」に変更するための条例改正と、三吉野桜木土地区画整理事業の実質的な完了となる換地処分に伴い、整備前の道路線の廃止と、新たに整備された道路の路線認定が全会一致で可決されました。

最終日には三吉野土地区画整理事業の換地処分による「日の出町商工振興ひろば」の所在地番の変更に伴う条例改正。また、同ひろばの指定管理者を日の出町商工会に指定すること及び「日の出町老人福祉センター」の指定管理者の指定内容の変更」について全会一致で可決されました。

さらに議員提出議案の「北朝鮮の核実験に抗議する決議」が全会一致で可決されました。

専決処分の承認

3月定例会後から6月定例会までの間に、条例改正（町税賦課徴収条例・都市計画税条例）と平成20年度的一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計の補正予算について専決処分されました。

補正予算

平成21年度日の出町一般会計補正予算(第2号)

● 2,500万円を追加し、総額75億5,700万円に！ ●

		内 訳	補正額
歳入	都支出金	緊急雇用創出区市町村補助金(400万円)の追加です。	400万円
	繰越金	前年度繰越金(2,040万円)の追加です。	2,040万円
	諸収入	防火防災訓練用資器材助成金(60万円)の追加です。	60万円
歳出	総務費	住宅用火災警報器設置助成金(500万円)、心肺蘇生訓練用セット・AEDトレーナー購入(65万8千円)の追加が主なものです。	624万1千円
	民生費	学童クラブ施設整備に伴う平井小学校改良工事(約202万円)、ひので森林こども大久野公園整備に伴う旧庁舎解体工事(約501万円)の追加が主なものです。	915万1千円
	商工費	温泉センター・肝要の里管理運営支援金の精算分(500万円)、日の出山荘周辺整備事業委託料(350万円)の追加が主なものです。	890万8千円
	土木費	松尾地内人道橋架替工事測量委託料(70万円)の追加です。	70万円

第2回定例会で審議された議案（平成21年6月3日～15日）

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	新	公	町	ク	共	審議結果
議案第48号から第53号は「専決処分の承認を求めることについて」です。							
48	（日の出町税賦課徴収条例の一部を改正する条例） 【内容】 地方税法の一部を改正する法律等の公布による条例改正です。	○	○	○	○	×	承認
49	（日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例） 【内容】 地方税法の一部を改正する法律等の公布による条例改正です。	○	○	○	○	○	承認
50	（平成20年度日の出町一般会計補正予算（第7号））	○	○	×	○	×	承認
51	（平成20年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	承認
52	（平成20年度日の出町老人保健特別会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	承認
53	（平成20年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	承認
54	日の出町老人福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 【内容】 ※P2を参照	○	○	○	○	○	原案可決
55	平成21年度日の出町一般会計補正予算（第2号） 【内容】 ※P2を参照	○	○	○	○	○	原案可決
56	平成21年度日の出町老人保健特別会計補正予算（第1号） 【内容】 1,079万5,000円を追加し、予算総額を3,179万5,000円としたものです。	○	○	○	○	○	原案可決
57	日の出町道路線の廃止について 【内容】 ※P2を参照	○	○	○	○	○	原案可決
58	日の出町道路線の認定について 【内容】 ※P2を参照	○	○	○	○	○	原案可決
59	日の出町商工振興ひろばの設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例 【内容】 三吉野桜木土地区画整理事業の換地処分に伴い所在を新地番に変更するものです。	○	○	○	○	○	原案可決
60	日の出町商工振興ひろばの指定管理者の指定について 【内容】 日の出町商工振興ひろばの指定管理者を日の出町商工会に指定するものです。	○	○	○	○	○	原案可決
61	日の出町老人福祉センターの指定管理者の指定内容の変更について 【内容】 日の出町平井・生涯青春ふれあいセンター新築に伴う指定内容の変更です。	○	○	○	○	○	原案可決

＜議員提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	新	公	町	ク	共	審議結果
4	北朝鮮の核実験に抗議する決議 【内容】 北朝鮮の核実験に抗議し、核の放棄を求めることを決議するものです。	○	○	○	○	○	原案可決

平成21年 第2回定例会会期中の各会派の名称と所属議院は次のとおりです。 ★印…会派代表者

会派名	上記の表の略号	所属議員	
新政会	新	★清水秀明・東 亨・橋本聖二・神田芳男・小澤光雄 須崎安通・濱田敏郎・加藤光徳・平野隆史	9人
町民党	町	★田村みさ子・青鹿和男	2人
公明党	公	★嘉倉 治・大澤言枝	2人
クラブ21	ク	★星野 茂・神田 廣	2人
日本共産党	共	★折田眞知子	1人

一般質問

町政を問う

要旨

～9人の議員が23項目について～

健康サポート日本一の町を

嘉倉 治 議員

答 計画的に、きめ細かに対策に力を入れる

問 特殊疾病対策事業は現在、町独自の助成額は月2500円であるが、昨今の時代背景に鑑み増額を図るべきと考えるが、子育て福祉課長 増額については、福祉施策全体の中で検討する必要があり、今後の検討課題とする。

問 特に壮年の方々が多く発症する脳疾患の予防のため、脳ドックをある一定の年齢から町の補助で実施しては

いきいき健康課長 各医療保険者ならびに他市町村の動向を見極めながら、年齢の制限も含め慎重に検討する。

問 新型インフルエンザ対策、町の危機管理体制について

町長 5月1日東京都に危機管理対策会議が設置されたのに伴い、町内に新型インフルエンザ対策会議を設置し、関係課による協議を実施し、町として統一した対応をとることとした。

会議結果を、町内各課に周知し、町民には、インターネットにより発熱した場合の相談窓口を知らせた。

5月15日に自治会を通じ各家庭に新型インフルエンザについてお知らせを配布し、感染予防と発熱の場合の相談窓口を周知、5月19日に二回目の会議を開催し対応を協議し確認した。6月1日付けの広報で、再度町民に、予防と備えについて周知を図った。町としても第二の流行を警戒しながら、国や東京都と連絡を密にし、基本的対処方針に従っ



て、いつでも対応できるように万全を期していく。
問 新型インフルエンザワクチン接種への助成・補助の実施を
副町長 国や都の動向を見ながら、町としても対応を検討する。

他の質問

・さらなる安全・安心の町づくりへ

都道165号線(通称病院街道)の整備促進について

加藤 光徳 議員

答 一日も早い完成に向けて協力

問 都道165号線の整備経過は

町長 みちづくり・まちづくりパートナー事業として三吉野油田地区まで整備が完了している。未整備であるあきる野市の区間については都施行に

よる早期整備を要望してきた。

問 現在、油田で終わっている道路の線形と予想されるルートは

町長 西多摩建設事務所によると、都施行事業として、行政境から秋川



消防署の北側へ抜け都道185号をまたいであきる野秋3・5・2号北伊奈の都市計画道路へ接続するルートで決定した。

問 165号線は長年の懸案であり一日も早い実現を期待しているが、今後の事業の進め方、計画等は

町長 今年度は現況測量と基本設計を実施する。

建設課長 延長は700m前後になると推測する。

問 都道185号線の進捗状況は

建設課長 第二次交差点すいすいプランとして日の出団地交差点改良事業を実施中である。スーパ

オザム前から南へあきる野市境までの270mで都市計画道路として幅員18mに拡幅し、両側に4.5mの歩道と右折レーンを設置する。20年度末で34%の用地を取得したが、工事は今後の用地取得の進捗状況を踏まえて実施する予定である。

他の質問
・後期高齢者医療助成の経過と成果について

ヒブワクチンに助成を!

大澤 言枝 議員

答 区市町村の動向を見守り検討

炎などを引き起こしやすい。わが国ではインフルエンザ菌B型による髄膜炎は1996年から1998年の調査で5歳未満人口10万人に対し8.6人から8.9人とされ、全国で年間600人が発症していると報告されている。

問 町内の、ヒブによる小児細菌性髄膜炎、肺炎、喉頭蓋炎などの現状について

いきいき健康課長 町では特に調査を実施していない。町の5歳未満の人口720人に対して0.06

人という数が推計されている。しかしながら町内の医療機関などから、ヒブによる小児細菌性髄膜炎、肺炎、喉頭蓋炎などの発症事例の報告は受けていない。

問 日の出町として、ヒブワクチンの公費助成を早急に実施すべきと思うが

いきいき健康課長 ヒブワクチンは国の予防接種法に

よらない任意の予防接種で、万が一、この予防接種により重篤な障害が発生した場合の補償は、国の予防接種健康被害者救済制度が適用されない。そのため各市町村が単独で医療補償等を行うことになる。全国では72の区市町村がヒブワク

チンの公費助成を実施し、都内では2区と2市が実施している。被害者への補償制度の充実が課題となり、区市町村の補償にも限界がありなかなか踏み出せないのが現状。町としては、現在までヒブによる小児細菌性髄膜炎等の発症例が報告されていないこと、補償の問題もあることから、事態の推移と他の区市町村の動向を見守りつつ検討する。

他の質問
・安全・安心の更なる拡充を!
・スクールニューディールについて



安全・安心(防災・防火)・強いまちづくりについて

平野 隆史 議員

火災警報機の設置 100% へ助成を継続して実施

答

問 20年度に住宅用火災警報器の設置補助を行なったが、その状況は生活安全安心課長 自治会での申し込み3025件、個人で246件、合計で3271世帯に助成。普及率は施設等を含まない計算で約75%となり、21年度についても7月より継続実施していく。

れるが、PR等について町としての対応は生活安全安心課長 周知については、継続して防災無線での普及促進を図り、未設置世帯には秋川消防署と連携してパンフレットの配布、また7月の広報、ホームページへの掲載等も考えている。

問 平成21年3月の議会の中で、家具転倒防止器具取り付けの補助の話を伺ったが、どのような計画がされているか

生活安全安心課長 この予算については(財)東京都区市町村振興協会から3年間で世帯数の5%分の補助金が配分されている。21年度は、器具の購入、取り付け料、パンフレット印刷等で220万6000円の予算を組んでいる。助成対象は、日の出町に居住し、住民登録、外国人登録をしている世帯、無料取り付け該当世帯は、満65歳以上の者のみ・要介護2以上、身体障害者1級2級・愛の手帳1度2度・精神障害者保険福祉手帳1級2級・難病医療費助成を受けている者が属する世帯である。町で定めた支給器具は、突っ張り棒、L型器具、ベルトで固

定する器具等で支給上限は1万5000円とし、器具の種類ごとにポイントをつけ、合計150ポイントまでとする。器具の支給は、各年度通算して1世帯につき1回、支給方法は町の指定業者より配送、取り付け。申込受付期間は6月1日から11月30日とし、手続きは生活安全安心課窓口とする。

他の質問

- ・ 新型インフルエンザに対する町としての対応は
- ・ 平成25年に開催予定の多摩国体準備に向けて



家具に合わせて合計150ポイントまでの器具を無償で支給

介護保険制度・利用者本意の運営を

田村 みさ子 議員

答 介護者支援の推進は今後の課題

問 要介護認定の変更内容と調査員への研修について、また更新認定者には経過措置が実施されているが、どのような案内が出されているか

3%アップされたため個人負担の増額はある。サービス利用については、限度額いっぱい利用している方については特に可能性が出てくると思われる。

いきいき健康課長 主な変更点は要介護認定の一次検査項目を82項目から74項目に、また一次判定用コンピュータシステムの基礎データ等を現状に合わせて変更し調査員の研修を実施している。経過措置の案内については、更新申請時に要介護度が変わっても従来どおりを選ぶことができる旨ご案内している。

問 要介護高齢者と家族を含めて支援が必要なケースがあるが、生活援助は同居家族がいると原則として認められない。家族介護の負担軽減と精神的な支援を含めたサポート体制の充実が急がれているが

いきいき健康課長 第4期で介護報酬単価が全体で



- 他の質問
- ・ 「憲法改正国民投票法」正確な情報提供を
- ・ 新型インフルエンザ対策・生活不安を最小限に

問 通院介助と散歩はどうか

いきいき健康課長 通院介助は原則として受付まで、散歩はケアプランに位置付けられていなければできない。

小中学校における教育の向上について

神田 廣 議員

答 少人数指導、学習ボランティア活用等積極的に行う

問 学習内容を増やした小中学校の学習指導要領が、理科と算数・数学について今年度から先行実施されたと聞いている。また小中学校の英語についても今年度から取り組むところが多いと聞いている。先行実施された学校の具体的な取り組みは

学校教育課長 算数・数学・理科については、各学校の実態に合わせ具体的な指導を検討するとともに、一年かけ年間指導計画、評価計画の改善に取り組んでいく。新たな教材により必要な備品、消耗品購入の準備をしていく。

外国語活動については、全児童に英語ノート、教員には英語ノートを活用した指導資料とCDを配布した。

問 学習内容の増加により、授業時間が増えるとともに、理科の観察や実験の補助をする支援員、また、算数・数学・英語等新たな教材に対し、きめ細かな教育を実施するための施策等、多くの課題にどのように取り組まれるのか

学校教育課長 基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るとともに、個性、能力



他の質問
・安全・安心の危機管理対応について

に応じた教育を推進することとは、極めて重要となります。指導方法の工夫改善計画を更に推進し、全小中学校に少人数指導を推進し、学習ボランティア等を積極的に活用し、充実を図っていく。

問 小中学校の夏場対策は、現状はどのようなになっているか

学校教育課長 学校施設の老朽化の改修が最優先としていく、夏場対策は検討していきたい。

学童保育の現状と課題について

星野 茂 議員

答 今後、各小中学校の余裕教室の利用を教育委員会と協議

問 多摩地区では景気の悪化を背景に学童保育の「待機児童」が増加しているが、町内の現状は

子育て福祉課長 平成21年6月1日現在、町内3学童クラブの登録人数は、本宿学童クラブ定員60人のところ59人。志茂町学童クラブ45人のところ50人。大久野学童クラブ45人のところ42人となっている。現在、待

機児はいない。

問 今後町の人口増が見込まれる状況にあるが、運営面での課題と対応などについての見解は

子育て福祉課長 現在、定員を上回る学童クラブは志茂町学童クラブのみであるが、同学童クラブは、ここ数年、登録児童数が多い傾向にあることから、緊急避難的ではあるが、平井小学校の教室を1室借りて、この教室と志茂町児童館の学童クラブ保育室を併用することになった。基本的には、平井小学校内で保育を行いながらも、土曜日などは学校の管理上から児童館の既存学童クラブ保育室を使用する予定である。

また、夏休みにおいても、学校管理上、どのような措置が必要となるのかなどに



他の質問
・高齢者医療制度と特定検診について

日の出町高齢者保健福祉 計画について

折田 眞知子 議員

答 地域で見守り合う仕組みを強化

問 認知症サポーターについて

いきいき健康課長 認知症サポーターは認知症について正しく理解し、認知症の方々の家族を見守り支援していく地域のボランティアを言います。日の出町においては、国が展開している認知症サポーター養成講座を実施するため、2名の方がキャラバン名と要請研修を受講し、研修終了書を取得した。町として、今後認知症の人やその家族を温かく見守り応援していく方を養成する、認知症サポーター養成研修事業を必要に応じて実施したい。

問 孤独死防止対策の充実を

いきいき健康課長 現在、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、自治会、老人クラブなどの地

域住民や関係協力機関が声かけや見守り等を行っている。今後、自治会、民生児童委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどが協力して、地域全体で見守り合う仕組みをさらに強化充実し孤独死防止対策の充実を推進する。

問 一人暮らしの高齢者に対する支援対策について

いきいき健康課長 一人暮らしの高齢者が安心して暮らすために、地域福祉の役割はますます重要になっており地域福祉の中心的存在である自治会や民生児童委員、社会福祉協議会などの組織を通じて、一人暮らしの高齢者等の生活全体を支援し、見守り合う仕組みを強化、充実し今後新聞や郵便配達、電気の検針、地域に密着している事業所の協力を得る仕組み、見守り協力員の配置など検討していく。

他の質問
・細菌性髄膜炎から子どもを守るためにヒブワクチンの公的接種を
・第4期介護保険事業計画について



公立小学校の「水飲栓直結化事業」について

青鹿 和男 議員

答 本宿小学校で直結化工事を実施済み

問 本宿小学校で、「直接蛇口から水を飲む水道水のおいしさについて」小学生の評判は

学校教育課長 4年生から6年生まで125名を対象に調査を実施したところ、84名がおいしい、すごくおいしいと、その理由として冷たいからが多数を占めている。

学校についても「水飲栓直結化工事」を実施するべきと考えるが、その計画はあるか。また給水栓の末端での水温、残留塩素の調査について

学校教育課長 大久野小学校の給水方法は受水槽の設置はなく本管から直接高置タンクへ入り水質も良いので、現在のところ考えていない。平井小学校は、建築年次が一番新しく受水槽、高置タンクの状態もよく水質もよいため今後の様子を見ながら対応していく。水温については、特に調査はしていないが、残留塩素については0.2mg/lである。



問 東京都水道局では、公立小学校(400校)を対象に「公立小学校の水飲直結化モデル事業」を実施していますが、今後公立中学校についても実施してはどうか

学校教育課長 この事業は公立小学校を補助対象としているものであり、現在町は施設の老朽化に伴う補修工事等を優先して行っているため単独事業で、この事業は考えていない。

他の質問
・商工観光産業の振興について
・遊休農地対策について

次の定例会は9月に開かれます。
本会議と常任委員会は傍聴が出来ます。
お気軽にお越しください。

9月定例会日程（予定）

- 8月27日（木） 議会運営委員会
- 9月 2日（水） 本会議（議案審議）
- 9月 3日（木） 常任委員会
- 9月 9日（水） 議会運営委員会
- 9月14日（月） 本会議（一般質問）
- 9月15日（火） 本会議（一般質問）
- 9月16日（水） 本会議（議案審議）

平成21年第1回臨時会が
5月28日（木）に開催されました

○ 議案第46号

「日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」
内容：6月に支給する職員の期末手当を0.2カ月減額する。

○ 議案第47号

「日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」
内容：6月に支給する特別職の期末手当を0.2カ月減額する。

以上、2議案が全会一致で可決されました。

請願・陳情は！

9月の定例会につきましては、8月25日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- ① 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
- ② 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
- ④ 陳情・請願書は原則として、A4版（縦長）の用紙に横書きで記入し提出してください。
- ⑤ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑥ 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時間にご来庁願います）
- ⑦ その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください

請願・陳情

このように決まりました

継続審査

▼福祉施設・保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう、国に対し意見書採択を求める陳情

議会日誌



講師：松本 克夫氏（ジャーナリスト）

東京都町村議会議員が一堂に会して研修

5月13日、ホテルフロラシオン青山（港区）において、東京都町村議会議長会主催による講演会が開催されました。ジャーナリストの松本克夫氏を講師に迎えて「自治の原点を求めて」の講演に、各議員が熱心に耳を傾けていました。

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
町の夏まつりをはじめ、地域の盆踊りやおまつりがにぎやかに行われていることと思いません。

転入者が増えています。きつかけがないとご近所でもなかなか挨拶しづらいでしょう。開かれた地域のおまつりは人と人をつなげる良い機会かもしれません。個人の生活が優先されて人間関係が希薄と言われる時代でも、おまつりはどこも盛況です。参加する方々は明るく心から楽しんでいきます。一緒に集うことはどの年代にとっても大きな喜びであり、必要な生活の一部：：そう思えてきます。おまつりやさまざま

な地域行事を通して新しい出会いが生まれ、地域の連帯が育まれ、より豊かな地域社会が創られていくことを願っております。

最後になりましたが、議会だより編集委員二年の任期最終の号となりました。「判りやすく・読みやすい」紙面づくりに努めてきましたが、まだまだご意見はあることと存じます。どうぞ今後とも、ご意見をお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、議会議事録全文は図書館または日の出町のホームページから「日の出町議会情報」↓「会議録検索システム」で読むことが出来ます。是非ご覧下さい。

ひので議会だより編集委員

須崎 安通 神田 廣 加藤 光徳
田村みさ子 濱田 敏郎 折田眞知子
編集委員長



《 ひと言 》

- 神田 廣 適切でわかりやすい要約が出来たのかどうか、反省させられる部分があった。
- 加藤 光徳 質問者の意図や想いを限られた紙面の中で要訳、校正するのは難しい。
- 須崎 安通 議会だよりに携わり早二年間、大変勉強になりました。
- 折田眞知子 「真田」や「格差」の社会から、「安心」や「希望」の社会に切り替えましょう。
- 田村みさ子 「見て引き込まれる紙面と判りやすい表現を。」編集目標は「超党派」でした。
- 濱田 敏郎 要約は大変難しく、質問者の意図が表せたか勉強になった。

日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線360